

# 2021 年度(第 22 期)

## 事業報告書

【期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日】

### 目次

I.この 1 年を振り返って	・・・ 2
II.事業報告	
1. 調査研究、政策提言事業	・・・ 3
2. 東日本被災地支援およびその他の災害支援事業	・・・ 6
3. NPO 支援事業	・・・ 7
4. NPO のための資源仲介事業	・・・ 8
III.組織運営	・・・ 10

特定非営利活動法人 市民活動センター神戸

(KEC ; Kobe Empowerment Center)

# 1.この一年を振り返って

2020年春に大きなNPO支援事業をひょうごコミュニティ財団に移譲して2年目の年を終えました。この1年も昨年度に続き、アドボカシー（政策提言）やネットワーク活動を中心とする活動を行いました。後述のように、この規模の法人としてはインパクトのある活動ができたと思います。

元々KECが行っていたNPO支援の領域では、一般的な相談や情報提供、コーディネーションといった非資金的支援（中間支援）がKECでもコミュニティ財団でも十分にはできておらず課題でしたが、コミュニティ財団がその部分を徐々に強化しつつあり、課題は小さくなってきています。

ネットワーク活動やアドボカシーを中心に活動を行いましたが、とはいえ小ぶりの活動であり、必要とされていることに照らせば十分なものは到底言えません。コミュニティ財団の方の体制づくりにもうしばらくの時間を要するため、もうしばらくは雌伏の時期が続くと思われます。

## 調査研究、政策提言の事業

ひょうごコミュニティ財団での活動と重なりますが、政府の「孤独・孤立対策」に関わる政策提言、休眠預金制度に関わる政策提言を行いました。

また、ひょうご市民活動協議会（HYOGON）として2021年7月の兵庫県知事選挙にあたり、立候補予定者の公開討論会を開催、その企画の中心メンバーとなりました。

（→「1. 調査研究・政策提言事業」）

## ひょうごコミュニティ財団の事業の進展と、KECとの事業統合

昨年度（2020年春）にKECからひょうごコミュニティ財団へ、NPO支援事業は移譲しましたが、上述のように、相談その他の非資金的支援はどちらの法人でも十分には行えていませんでした。コミュニティ財団の方で、徐々にその分野を強化しつつあります。支援事業（財団）一情報発信や政策提言（KEC）という棲み分けが今後より明瞭になると思われます。

## 財政など

本年度も昨年度同様、数十万円という小規模な会計となりました。未使用の使途指定寄付がありますので実質的には若干の赤字ですが、繰越正味財産額が330万円ですので財政運営は問題ありません。

## II. 事業報告

### 1. 調査研究、政策提言事業

本年度は下記のような提言活動を行いました。来年度（2023）が休眠預金制度発足から5年目の見直しの年となり、制度見直しへ向けた調査・ヒアリングなどが活発化しつつあり、その一端に関わりました。休眠預金などでは実吉事務局長がひょうごコミュニティ財団の立場で呼ばれることもあり、KECとしての活動とコミュニティ財団のそれとの境目が、特に政策提言活動においては不明なところもあります。

③の兵庫県知事選挙における公開討論会は、ひょうご市民活動協議会（HYOGON）としての活動です。

---

#### (1)NPO やまちづくりに関する調査、政策提言(自主、協力)

---

##### ① 政府の「孤独・孤立対策」政策に関連する提言活動

政府が2020年2月に「孤独・孤立対策」の担当大臣および担当室を設置し、その前後から様々な政策課題について「NPOの活用」が急増し始め、これまでになく大きな予算が（特に現場の団体に）付くようになってきた。チャンスという面もあるものの、NPO・市民活動に関する根本的な理解が政策当局側に十分でなく、NPOを政策の道具化する危険性も小さくないと考え、全国のNPO支援センターの人々とともに提言活動を行った。

引き続き政策動向を注視するとともに、必要に応じてタイムリーな提言活動を行っていきたい。

(実施内容)

2021年6月 「CEO会議」にて「孤独・孤立」に関する提言のタスクチーム結成。メンバーに。

※CEO会議：日本NPOセンターが事務局を務める「民間NPO支援センター・将来を展望する会」の略称

2021年7月 同チームで提言書作成

2021年8月 政府の「孤独・孤立対策フォーラム」地方開催（神戸）に登壇

2021年9月 坂本哲志孤独・孤立対策担当大臣に面会

2022年2月 自由民主党・孤独・孤立対策特命委員会の会合にて報告

## ② 休眠預金制度に関する政策提言

年度末近くに、①の関連で休眠預金制度について内閣府・休眠預金担当室からヒアリングを受けた。またその前後に、休眠預金に関わっている団体の方へのヒアリングや、「CEO 会議」や「わくわく会議」その他の場で計数十団体の方との意見交換を行った。

(実施内容)

- 2022 年 1 月 「CEO 会議」において休眠預金制度について、JANPIA からの報告とともに意見交換
- 2022 年 2 月 「わくわく会議」において休眠預金制度について意見交換
- 2022 年 2 月 休眠預金の実践者（資金分配団体、実行団体）にヒアリング
- 2022 年 3 月 内閣府休眠預金担当室からヒアリング

## ③ 2021 年兵庫県知事選挙における立候補予定者・公開討論会（HYOGON 主催）

2021 年 7 月の兵庫県知事選挙にあたり、ひょうご市民活動協議会（HYOGON）として立候補予定者の公開討論会を開催しました。当会はその企画の中心メンバーとして実現に貢献した。

【開催概要】

日 時：2021 年 6 月 29 日（火）19:00～21:00

場 所：神戸 YMCA 三宮会館

登壇者：※開催日時点の立候補予定者。五十音順

金澤和夫氏

金田峰生氏

齋藤元彦氏

中川暢三氏

コーディネーター：岡本仁宏氏（関西学院大学教授、前日本 NPO 学会会長、当会正会員）

開催方法：YouTube にて LIVE およびアーカイブ配信

(URL： <https://youtu.be/ITRPMdj8paA>)

視聴数：4,120 再生（2022 年 3 月 31 日現在）

## ④ 講師派遣

KEC として受けたものは下記の 3 回のみ（この他に上記①、②に関連して、ひょうごコミュニティ財団として受けたものが数回、また無償でネットワークの会議で発表・報告したものが複数回ある）。

2021 年 5 月 22 日 しが NPO センター総会（休眠預金）

2021 年 11 月 20 日 日本 NPO 学会・原田峻先生受賞記念講演会（NPO 法）

2021 年 11 月 23 日 日本 NPO センター 25 周年記念フォーラム（同センターの 25 年の歩み）

---

## (2)役員就任、審議会、研究会、ネットワーク等(自主)

---

団体、個人として以下の団体、ネットワークの役員・会員、および審議会等のメンバーとなった(従来 KEC として加入していたもののうち、いくつかはひょうごコミュニティ財団に移っている)。

### <KEC に残したもの>

#### 【団体】

- ・ひょうご市民活動協議会(正会員) ※コミュニティ財団でも加盟
- ・ひょうごん福祉ネット(加盟団体) ※同上
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク(参加団体) ※同上
- ・避難サポートひょうご(事務局) ※休止状態
- ・市民ファンド推進連絡会(世話団体) ※休止状態
- ・NPO 会計支援センター(会員)
- ・認定 NPO 法人日本 NPO センター(正会員)
- ・認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会(団体賛助会員)
- ・認定 NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ(正会員)

#### 【個人】

- ・ひょうご市民活動協議会(代表・運営委員) / 実吉
- ・(社福)神戸市中央区社会福祉協議会(理事) / 実吉
- ・ひょうご中間支援ネットワーク手引きプロジェクトチーム(メンバー) / 実吉  
※コミュニティ財団でも加盟
- ・神戸市中間支援 NPO と行政の意見交換会(メンバー) / 実吉
- ・日本 NPO センター・支援センターCEO 会議(メンバー) / 実吉  
※コミュニティ財団でも加盟
- ・日本災害復興学会(正会員) / 実吉
- ・市民による追悼行事を考える会(呼びかけ人) / 中田

### <ひょうごコミュニティ財団に移したもの(2020年度から)>

#### 【団体】

- ・NPO 法人会計基準協議会(メンバー)
- ・NPO 会計税務専門家ネットワーク(正会員)

#### 【個人】

- ・神戸市居住支援協議会(会員) / 実吉
- ・災害救援ボランティア活動支援団体連絡協議会(会議委員) / 実吉

## 2. 東日本被災地支援およびその他の災害支援事業

本年度は全体としてほぼ休止状態でした。

---

### (1) 東日本大震災の被災地支援(自主)

---

#### ①被災地 NPO 応援基金Ⅰ・Ⅱ

本年度は休止状態であった。ただし、本年度中に「基金Ⅰ」「基金Ⅱ」へのご寄付（10万円）があったため、次年度（2022年度）に活動を行う予定。

- （注） 基金Ⅰ 東日本大震災被災地の NPO への支援活動のための基金  
基金Ⅱ 東日本大震災の広域避難者支援の活動のための基金

---

### (2) 東日本大震災・福島第一原発事故による広域避難者支援(自主、協力)

---

#### ① 避難サポートひょうご

本年度は休止状態であった。

### 3. NPO 支援事業

KEC が行ってきた NPO 支援の事業は、2020 年 3 月末をもってひょうごコミュニティ財団に移譲したため、基本的には KEC としては休止中です。ただ、従来から KEC が行ってきた一般的な相談や情報提供、コーディネーションといった非資金的支援（中間支援）は KEC でもコミュニティ財団でも十分にはできておらず課題でした。現在コミュニティ財団がその部分を徐々に強化しつつあり、課題は小さくなりつつあります。

KEC に入ってくる情報はまだまだ多いため、地域の NPO への情報提供やそこから始まる個別相談などは、今後はコミュニティ財団にアウトプット部分を任せる形にしていきます。

ひょうご市民活動協議会（HYOGON）、ひょうごん福祉ネットなどの場で団体への運営アドバイスなどをする機会があり、便宜的にこの章に入れていきます。

---

#### (1)NPO 支援事業(自主)

---

##### ①【継続】ひょうご市民活動協議会(HYOGON)

2019 年度から（共同）代表兼運営委員を務めており、引き続き運営及び各種事業へ参画。

開催概要・報告：<https://hyogon.net/>

##### ②【継続】ひょうごん福祉ネット

加盟団体。ただし本年度はあまり積極的な参加はできていない。

開催概要・報告：<https://hyogon.wixsite.com/fukushi-net>

## 4. NPOのための資源仲介事業

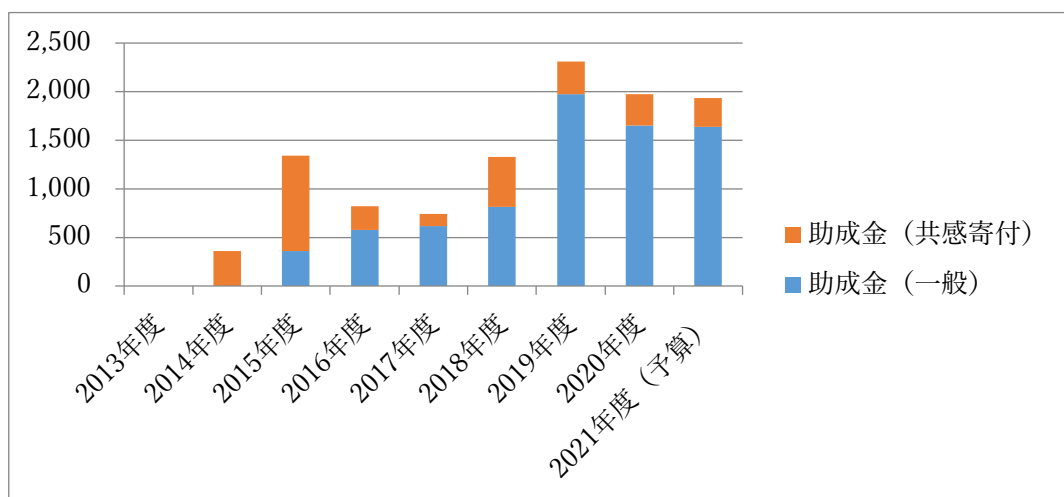
2011年頃から2019年度まで、「公益財団法人ひょうごコミュニティ財団」の立ち上げ支援を行ってきましたが、同財団の成長と2020年4月の事業の整理統合により、KECによる支援は実質的に終了しました。

同財団は特にこの5年間で大きく成長し、コンスタントに年間1千数百万円～2千万円程度の助成（2019～2021年度）を行うほどになりました。この2年間はコロナ禍で大きな変動の中にありましたが、地域の皆さんと一緒に実施している「ひょうご・みんなで支え合い基金」など、新しい展開も見せています。

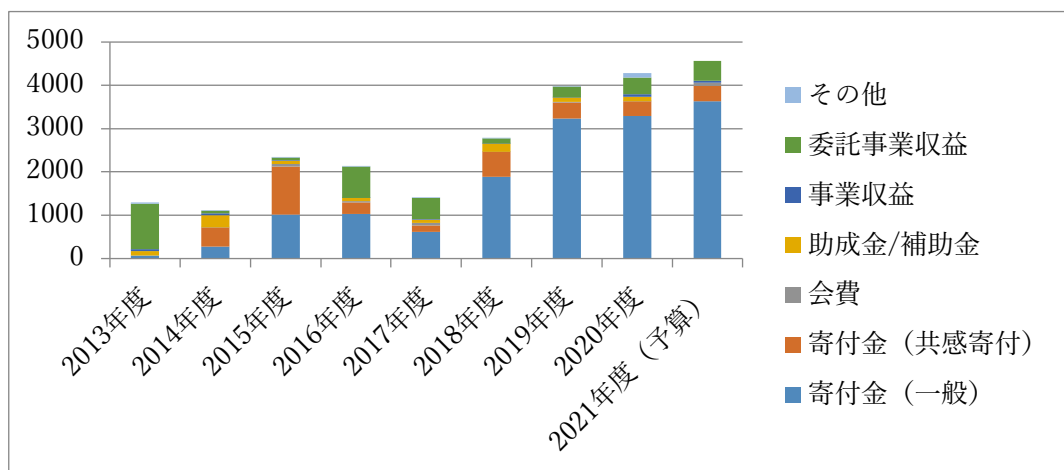
その活動原資も地域の人々・団体からのご寄付が約9割を占め、名実ともに「コミュニティの財団」として定着しつつあり、またKECから移譲された相談やアドバイザー派遣等の非資金的支援も実施する総合的な支援機関となっています。

KECとして、足かけ10年に及ぶプロジェクトでしたが、大きな成果を挙げつつあると断言してよいと考えています。

### <ひょうごコミュニティ財団 助成額の推移>



### <経常収益の推移と内訳>





## 【ひょうごコミュニティ財団の2021年度の主な事業】

### ○有園博子基金

故有園博子さん(兵庫教育大学教授=当時、2017年末にご逝去)のご遺贈(約1億円)を受けて設置した被害者支援のための基金。2021年度は3期目となり、テーマを組織基盤強化に特化してそのための研修やアドバイザー派遣等も実施。助成としては計9件、819万円の助成を実施した。4期目の2022年度は組織基盤強化に加えて裾野を広げるための「活動応援コース」を新設し、計10件、計767万円の助成を決定している。

### ○輝け加古川みらい基金

2015年度から始まった本基金は2021年度(通算第6期)をもって終了した。2020年度に実施予定だった成果の検証がコロナ禍で実施できていないため、2022年度に実施する予定。6年間で計107件、計1802万円の助成を実施した。

### ○真如苑・ひょうご多文化共生・外国人支援基金

通算第6期となる今期(助成期間:2021年11月~2022年10月)は「多文化共生・外国人支援」テーマの最終年となる。5件、計113万円の助成を実施した。第7期以降の助成事業について現在協議中である。

### ○「ひょうご・みんなで支え合い基金」(新型コロナウイルス対応助成)

3次にわたり、計68団体に対して計1214万円の助成を行った。この基金は、財団単独ではなく地域のNPOほかの人々と実行委員会を組み、ネットワーク型で実施している。

(詳細) <https://hyogo.communityfund.jp/> (財団本体)

<https://hyogo.communityfund.jp/sasaeai> (支え合い基金)

## Ⅲ.組織運営

### 1.会議

特定非営利活動促進法第14条及び当会定款第16～34条に基づき、以下の会議を開催した。

#### (1)2021年度通常総会

日 時：2021年6月5日(土)15:00～17:00

場 所：秋毎ビル2階会議室+オンライン

出席者：出席正会員40名(うち書面表決または表決委任者23名) (正会員総数59名)

審議事項：第1号議案 2020年度事業報告案承認の件(全会一致で承認)

第2号議案 2020年度決算案承認の件(全会一致で承認)

第3号議案 役員選任案承認の件(全会一致で承認)

協議事項：2021年度事業計画および予算について

#### (2)理事会

	開催日	審議事項	出席者
第86回	2021年5月16日(日) 17:00-19:00	第1号議案 総会議案について 第2号議案 事業計画案承認の件 第3号議案 予算案承認の件	理事8名、監事1名
第87回	2021年6月16日(水) 18:30-19:15	第1号議案 東日本大震災関連団体への寄付について	理事7名、監事2名

### 2.会員

	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	2021年度末
正会員	67	63	59	60	59
賛助/個人	0	10	3	0	0
賛助/団体	0	5	2	0	0
利用/個人	0	0	0	0	0
利用/団体	0	0	0	0	0
計	67	78	64	60	59
(内、正会員以外)	0	15	5	0	0

### 3.役員

15年にわたって理事を務めていただいた諏訪理事が事情があり3月31日をもって退任された。

理事 中田豊一(理事長)      理事 森田博一(副理事長)      理事 磯辺(東方)康子  
理事 栞原英文              理事 実吉威                      理事 諏訪晃一(~2022年3月31日)  
理事 早瀬昇                  理事 山下淳  
監事 土肥直紀              監事 宮崎洋彰  
(理事8名、監事2名)

任期：2021年6月5日~2023年度通常総会終了時

### 4.事務局

・事務局職員

	市民活動センター神戸	ひょうごコミュニティ財団兼務
非常勤		実吉 威(事務局長)

(以上)